

エサを与えることで 生まれる「責任」

平成25年中、福岡県で殺処分となった犬・猫の数は5,945頭に及び、そのうち猫は約8割の4,790頭を占めます。さらに、その多くが野良猫が産んだ子猫です。

「殺処分される子猫」と聞くと、「かわいそう」という思いが生まれる方がほとんどではないでしょうか。

では、子猫たちはなぜ殺処分されてしまうのでしょうか。

その原因をたどると、ルールのないエサやりに行き着きます。エサを与えることで生まれる「責任」と、不幸な猫を増やさないために何をすべきか、考えてみませんか。



野良猫に困っている人がいることを知ってください

桂川町では、エサを与えることで増えた野良猫によって、様々な被害が起きています。役場に寄せられる主な被害内容は、次のようなものです。

- 野良猫が庭にフンや尿をしてとても臭く、処理も大変
- 夜中に大きな声で鳴くので眠ることができない
- 出していたごみを野良猫が漁り、散乱させている

猫は生き物です。飼い主のいない野良猫は飼い猫と違い、決められた場所で排せつすることはほとんどなく、他人の家の庭や駐車場、子どもたちが遊ぶ砂場などに所構わず排せつを行います。

また、エサを与えられた野良猫は、栄養状態が良くなり、通常より多くの子猫を産みます。年に2〜3回、一度に5匹前後の子猫を産み、1年で10〜15匹という勢いで増え続けます。

エサを与えることで増え続ける「不幸な猫」

面倒をみる人がいないままエサだけを与えられ、増え続けた野良猫は、地域に迷惑をかけるだけでなく、病気になった場合に治療を受けることができません。その結果、保健所に持ち込まれ殺処分されたり、治療を受けることができずに死んでいたりする「不幸な猫」となっています。

「かわいそうだから」とその場だけの善意でエサを与える人がいますが、エサを与えた時点でその人には「責任」が生まれます。それは、「最後までその猫の面倒をみる」という責任です。フンや尿の処理や不妊・去勢手術の実施など、エサを与えたことによる責任を果たさなければ、「不幸な猫」は増え続けていきます。



野良猫にエサをあげている皆さんへ、次のことをお願いします

🐾ルールのないエサやりは止めましょう

「かわいそうだから…」という気持ちはわかりますが、エサを与えるだけでは、結果的に殺処分される不幸な猫を増やすことにつながります。



🐾エサを与える場合は、近隣の人々の理解を得てください

公共の場所や他人の敷地内、駐車場などは迷惑になります。土地、建物の所有者や管理者、近隣の人にも話をして、理解を得るようにしてください。

🐾食べ残しは、きちんと片付けてください

エサの食べ残しがあると、カラスやネズミのエサになったり、ハエが集まったりするなど、不衛生になります。エサを与える場合は、決まった時間に同じ場所で与え、食べ終わるまでその場で待って、すぐに片付け、痕跡を残さないようにしましょう。



🐾エサをあげたらフン尿の始末もしてください

食べたら近くで排せつします。猫の尿はとてもニオイが強いものです。消臭剤などでニオイを消してください。フンもきちんと片付けてきれいにしましょう。

🐾増えないように不妊・去勢手術を実施してください

猫は不妊・去勢手術をしないと、1年で10〜15匹も増えてしまいます。そうなるのととても1人では世話をできません。これ以上増えないように、不妊・去勢手術を実施してください。

猫の飼い主さんへのお願い

野良猫は元をたどれば飼い猫が人の手から離れて発生したものです。新たな野良猫をつくらないためにも、猫の飼い主の皆さんには次のことをお願いします。

①室内で飼育しましょう

猫は室内で暮らせる動物です。病気やケガ、交通事故から守るため、室内で飼いましょう。

②不妊・去勢手術を行いましょう

生まれてくる子猫に責任が持てない場合は、不妊・去勢手術をして繁殖を防ぎましょう。

③迷子札をつけましょう

迷い猫防止のため首輪に身元を表示しましょう。

④絶対に捨てないでください

猫を捨てることは犯罪です。途中で飼育を放棄せず、最後まで責任を持って飼いましょう。やむを得ず飼うことができなくなった場合も、可能な限り新しい飼い主を探してください。

野良猫問題解決に「地域猫」

昨今、全国的に「地域猫」という考え方が広がっています。

地域猫とは、野良猫と違い特定の飼い主はいないものの、住みついている地域の住民たちの協力によって世話・管理されている猫のことで、次のような特徴があります。

- ▷エサや水をやる場所が決められている
- ▷フンや尿の処理や周辺の清掃を地域住民が行う
- ▷飼い主が受けるべき猫に関する苦情を地域住民で解決する
- ▷繁殖しないよう不妊・去勢手術が行われている
- ▷管理されている猫であること
- ▷を示す目印が付いている



▶耳がカットされている猫は、不妊・去勢手術された猫である証です

地域猫は、「猫の被害に迷惑している」「不幸な猫を減らしたい」といった野良猫問題を、地域全体で解決する方法として注目されています。

福岡県でも福岡県地域猫活動支援事業として、地域猫活動を行っている団体へ不妊・去勢手術の費用などの助成を行っています。

問合せ先

嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所
保健衛生課 生活衛生係
☎21・4973

桂川町役場 保険環境課 生活環境係
☎65・1097

